- 過誤納金の内訳について、計算明細シートで計算明細表を作成し、請求書と併せて提出してください。
- 複数の月分の更正請求書を一度に提出する場合は、月別内訳シートで月別内訳を作成し、請求書と併せて提出してください。

【記載にあたっての注意事項】

- 1 「計算期間」の欄には、利子等の支払をした年月を記載してください。
- 2 「確定の日」の欄には、地方税法第20条の9の3第2項の規定による更正の請求の場合において、判決により確定した日等を記載してください。
- 3 提出の際は、更正の理由を証する資料を添付してください。

処理事項	通信日付印	確認	精査	

更正請求書(県民税利子割)						
平成 年 月 日						
(あて先) 秋田県総合県税事務所長		住所 〒 (所在地)				
氏名 (名称)				印		
地方税法第20条の9の3 項の規定により、次のとおり更正の請求をします。						
税目	県民税利子割 ()	計算期間	平成 年 月分	法定納期限 確定等の日	平成 年 月 日	
	既に確定している金額等		更正の請求に係る金額等			
請求の内容	区分	支払額 (円)	税額 (円)	支払額 (円)	税額 (円)	
	課税					
	非課税	非居住者等	/		/	
		その他	/		/	
	計					
更正の理由	該当条項	地方税法第20条の9の3 項 号				
	内訳は付表「計算明細書」のとおり。					
税額 円の還付を請求します。						

担当部署 (担当者)						
電話番号						
金融機関名			預金種目		口座番号	

【記載例】

[事例] 平成26年3月に2,000円の間中利払いをした後に定期預金の中途解約があり、1,000円の解約利息を支払ったため、税額50円の還付を請求する場合の記載例。

	処理事項	通信日付印	確認	精査		
		・				
更正請求書						
平成 年 月 日						
(あて先) 秋田県総合県税事務所長						
所在地						
名称						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 中間利払いをした年月を記載します。 </div>						
地方税法第20条の9の3第1項の規定により、次のとおり更正を請求します。						
税目	県民税利子割	計算期間	平成26年3月分	法定納期限	平成26年4月10日	
				確定等の日	平成 年 月 日	
請求の内容	区分	既に確定している金額等		更正の請求に係る金額等		
		支払額(円)	税額(円)	支払額(円)	税額(円)	
	課税	123,000	6,150	122,000	6,100	
	非課税	0		0		
	計	123,456	6,150	122,456	6,100	
更正の理由	該当条項	地方税法第20条の9の3第1項第1号				
	※ご不明な場合は空欄のまま構いません。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 中間利払いをした「平成26年3月」分の申告金額を、申告書(控)等からそのまま転記します。ただし、過去に更正があった場合には、更正後の額を記入してください。 </div>				
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 当初支払額 - (中間利息額 - 解約利息額) $123,000 - (2,000 - 1,000) = 122,000$ </div>				
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 当初申告税額 - (中間利息の地方税額 - 解約利息の地方税額) $6,150 - (100 - 50) = 6,100$ </div>				
※ 本件における事務担当者(氏名) () 電話 ()						
※ 還付先口座() 銀行 () 支店 () 預金・口座番号 ()						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※お書き忘れのないようお願い致します。 </div>						

- 注1 「計算期間」の欄には、利子等の支払をした年月を記載すること。
 注2 「確定の日」の欄には、地方税法第20条の9の3第2項の規定による更正の請求の場合において、判決により確定した日等を記入すること。
 注3 「更正の理由」の欄には、請求をするに至った事情の詳細その他参考となるべき理由等を具体的に記載するとともに、支払額又は税額が過大であること等の事実を証する資料を添付すること。

[付表]

過 誤 納 額 の 計 算 明 細 書

特別徴収 義務者番号	金 融 機 関 名
店番	店 名

作成基準日 年 月 日

1 ページ目

預 金	当 初 利 払 時			修 正 後 利 払		差 引 額		備 考
	支払年月日	支払金額 (円)	税額(1) (円)	支払金額 (円)	税額(2) (円)	支払金額	(1) - (2) (円)	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	
			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	
合 計			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	

【記載例】

[付表] 過 誤 納 額 の 計 算 明 細 書 (記 載 例)

(例)平成26年3月分の利子等について、利子等の支払額を500円から400円に修正した者1名と、支払額を1,500円から600円に修正した者1名の場合

特別徴収 義務者番号	金融機関名
123456789	〇〇銀行
店番	店名
×××	〇〇支店

作成基準日 〇年 〇月 〇日

預 金	当 初 利 払 時			修 正 後 利 払		差 引 額		備 考
	支払年月日	支払金額(円)	税額(1)(円)	支払金額(円)	税額(2)(円)	支払金額	(1)-(2)(円)	
預金者名 〇〇 〇〇 口座番号 ××××××× (解約年月日)	26. 3. 10	500	(所得税) 76 (地方税) 25	400	(所得税) 61 (地方税) 20	100	(所得税) 15 (地方税) 5	
預金者名 〇〇 〇〇 口座番号 ××××××× (解約年月日)	26. 3. 10	1,500	(所得税) 229 (地方税) 75	600	(所得税) 91 (地方税) 30	900	(所得税) 138 (地方税) 45	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	0	(所得税) (地方税)	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	還付請求額
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	0	(所得税) (地方税)	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	0	(所得税) (地方税)	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	0	(所得税) (地方税)	
預金者名 口座番号 (解約年月日)			(所得税) (地方税)		(所得税) (地方税)	0	(所得税) (地方税)	
合 計		2,000	(所得税) 305 (地方税) 100	1,000	(所得税) 152 (地方税) 50	1,000	(所得税) 153 (地方税) 50	

預金者毎に、当初の支払日・支払額・税額、修正後の支払額・税額を記載してください。

[付表]

還付請求に係る過誤納額の月別内訳

特別徴収 義務者番号	金融機関名
店番	店名

作成基準日 年 月 日

支払年月	支払金額 (円)	税 額 (円)		納付年月日		差引額 (円)		備 考
		(所得税)	(地方税)	(所得税)	(地方税)	(所得税)	(地方税)	
		(所得税)		(所得税)		(所得税)		
		(地方税)		(地方税)		(地方税)		
		(所得税)		(所得税)		(所得税)		
		(地方税)		(地方税)		(地方税)		
		(所得税)		(所得税)		(所得税)		
		(地方税)		(地方税)		(地方税)		
		(所得税)		(所得税)		(所得税)		
		(地方税)		(地方税)		(地方税)		
		(所得税)		(所得税)		(所得税)		
		(地方税)		(地方税)		(地方税)		
合 計		(所得税)		/	(所得税)			
		(地方税)			(地方税)			

【記載例】

[付表] 還付請求に係る過誤納額の月別内訳（記載例）

特別徴収義務者番号	金融機関名
123456789	〇〇銀行
店番	店名
×××	〇〇支店

(例)平成26年3月分の利子等について、支払額を2,000円から1,000円に修正し、平成26年4月分の利子等について、支払額を4,000円から3,000円に修正した場合

作成基準日 ○年 ○月 ○日

支払年月	支払金額 (円)	税額 (円)	納付年月日	差引額 (円)	備考
H26.3	2,000	(所得税) 306	(所得税) 26.4.10	(所得税) 153	3月分還付請求額
		(地方税) 100	(地方税) 26.4.10	(地方税) 50	
H26.4	4,000	(所得税) 612	(所得税) 26.5.10	(所得税) 153	4月分還付請求額
		(地方税) 200	(地方税) 26.5.10	(地方税) 50	
		(所得税)	(所得税)	(所得税)	
		(地方税)	(地方税)	(地方税)	
		(所得税)	(所得税)	(所得税)	
		(地方税)	(地方税)	(地方税)	
		(所得税)	(所得税)	(所得税)	
		(地方税)	(地方税)	(地方税)	
		(所得税)	(所得税)	(所得税)	
		(地方税)	(地方税)	(地方税)	
合計	6,000	(所得税) 918 (地方税) 300		(所得税) 306 (地方税) 100	

毎月に、当初の支払金額・税額・納付年月日を記載してください。

毎月に、差引額（還付請求額）を記載してください。